

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

第16回全日本民医連
学術・運動交流集会in石川
 2023年
 日時▶10月13日(金)~10月14日(土)
 記念講演 上野千鶴子 さん
(社会学者、東京大学名誉教授、認定NPOの法人ワイメンズアクションネットワーク理事長)
 お問合わせ
 全日本民医連第16回学術交流実行委員会事務局
 TEL 03-5842-6451 FAX 03-5842-6460

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
 仙台市青葉区木町通1-8-18
 〒980-0801 田村ビル5F
 TEL 022-265-2601
 FAX 022-263-8266
 e-mail:dai@miyagi-min.com
 発行人 坂田 匠
 1日・15日 月2回発行 1部 50円

宮城県民医連 第10回 学術運動交流集会

実行委員も「Well-being」を実感

坂総合病院 運動療法士 咲 間 優 (実行委員会事務局)



7月23日にフォレスト仙台で、第10回学術運動交流集会を開催し、県連所属事業所から多職種な、381名が参加しました。記念講演は、東北学院大学教養学部人間科学科の東海林渉准教授が「Well-beingとは何か?」医療者のそれ、患者のそれ」のテーマで話されました。恒例の分科会・ポスター発表を始めとして、ワークショップ、資料展示室、ポスター自由閲覧等、初めての催しが目白押しでした。

今回の学連交は、県連7次長期計画の目標である「ヘルスプロモーション(健康維持・増進)活動の推進」を推進コンセプトの根幹に据え、世界中で注目されているWell-beingをテーマにしました。世界保健機関はWell-beingを「身体的・精神的・社会的に良好な状態であること」と定義しています。近年は、「幸福・人生の豊かさ」と意識されることも多く、SDGsでは「Health and Well-being(健康と福祉)」と訳されており、多面的な幸せを表す言葉がWell-beingです。

実行委員会では、Well-beingな委員会運営を目指すべく、担当する役割に責任を持ち、委員会を重なることに、協力し合いながら進捗することができました。

学連交当日に実施したアンケートの結果は、概ね好評です。今回学連交のWell-beingという概念を、今後は皆様と一緒に深めていければ幸いです。



記念講演を聴く参加者



ポスターの内容で交流中



分科会の様子



取り組みを報告する坂・土村まどか医師

今年「かわいい」をコンセプトにしました。あまり堅苦しくならないよう、「このかわいいチラシは何だろう?」とみなさんの目にとまるよう作成し、第1号では、実行委員長の盛口雅美医師が「Well-beingタイム」で



東海林渉准さん

全体会と記念講演、そしてこの新企画の取りまごめを行いました。記念講演は、講師の東海林渉教授と打ち合わせを行い、Well-beingについてあまり知らない方や、医療者ではない方にも楽しんでいただける内容にしました。

写真はうさぎの耳をつけて載せました!(もちろんな本人の許可はいただいています)



交流集会当日、スタッフも緊張感を持ちつつ楽しみました!



実行委員長の盛口雅美医師(左)、実行委員長賞の坂・今野伸康さん(右)

坂総合クリニック 看護師(広報担当) 伊藤美砂

今年は「かわいい」をコンセプトにしました。あまり堅苦しくならないよう、「このかわいいチラシは何だろう?」とみなさんの目にとまるよう作成し、第1号では、実行委員長

分科会チームの役割は、抄録の集約、査読、抄録の発行、当日の分科会運営などでした。抄録の査読を、チームメンバーで分担して行ないました。さらに担当を変えて「査読の査読」も行ない、発表者の皆さんへお返ししました。発表者の皆さんにはわかりにくい部分があったかも知れませんが、初めての取り組みで、今後の学連交へ向けてのノウハウが得られたと思います。

わからぬ部分も多くある中で、初めての試みも取り入れながら、やり遂げることができたのは、委員同士協力して進めることができたからだと思います。

皆さんと共有できた学連交、Well-beingでした!

健康手帳

今年はW杯の開催が話題です。女子サッカー、バスケットボール、ラグビーと、3競技で開催されますが、中でもラグビーを楽しみにしています。

今年、早明戦やお正月の大学選手権が楽しみでした。W杯にも出場していましたが、全く歯が立たず、1995年にはオールブラックス相手に145対17という歴史的な大敗を喫しています。当時は国内戦だけ楽しめれば良いと思っていたので、2019年の日本でのW杯の盛り上がりは驚きでした。▼試合中に選手がマウスピースを外すシーンを見かけます。マウスピースは外傷や脳震盪の予防の他に、顎位を安定させることで運動能力の向上も期待できるとされ、中学、高校では義務化されています。市販の物を温めて成型するタイプは安価ですが、自分の口に合ったものが違和感も少なく、高い効果が期待できるので歯科医院で作ってもらうのがベストでしょう。▼分かり難いと言われているルールが改正でより分かり難くなったような気もしますが、日本代表の活躍に期待したいと思えます。

無低診の制度を学び 広げる取り組みを

宮城厚生協会 無料低額診療プロジェクト 事務 小松 英則

7月29日TKPガーデンシティプレミアム仙台西口にて、宮城厚生協会主催の「無料低額診療学習交流会」を開催しました。全体で70名近い参加者となりました。

現在、宮城県内で無料低額診療(以下無低診)を行っている10事業所の

うち8事業所が宮城厚生協会の事業所となっております。今回の学習交流会は物価高や後期高齢者2割負担に示されるような社会保障の負担増、さらにはコロナ禍に伴い生活困窮者が増加している中、私たち職員が無低診の制度と法人の取り組みを学びながら交流し、無低診を広げ運動につなげていく契機とすることを目的に開催しました。

大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室講師の西岡大輔さんが、「無料低額診療の期待と課題 医療従事者にできること」と題して講演、その後、古川民主病院歯科、坂総合クリニック、坂総合病院からそれぞれ事例報告がありました。西岡さんは、無低診全国レジストリ調査結果をもとに、無低診を利用している方の約6割が生活保護基準以下の所得で生活していること、利用者の76%で友人・知人との交流頻度が「週1回未満」で、58%の方が「月1回未満」であり孤立の状況にあるかもしれないこと、さらに無低診を知っているだけでは受診行動に結び付く可能性は低く、支援者の方によって貰い一度でも受診するとその後の支援につながりやすいと話されました。「病院を受診することで、初めて生活困窮だと認知されるケースが多いところ

て、無低診は地域で把握されていないかった生活困窮者への支援のきっかけになりうる。無低診を利用することがゴールではなく、その後の生活をどう築いていくかの視点で様々な支援団体との連携につなげていくことが、医療従事者に求められる」と話されました。事例報告では、古川民主病院歯科の佐藤修太郎医師から、入れ歯の提案に経済的理由で断念した患者をMSWに紹介し、無低診を利用し治療した事例。坂クリニック看護師の山崎恵さんからは、がん患者の薬代が高額になり支払い困難な状況になることを事務職員が気づきから無低診につなげた事例。坂総合病院の社会福祉士の佐藤健太郎さんから、経済的理由で治療を中断していた患者の事例から無低診の公的制度へつなげたところ



たくさんの物資を受けとる母子

小学生対象の食糧支援 「久しぶりに美味しいご飯を食べた」の声

2023年8月5日、県連少子化と子どもの貧困を考える委員会は、坂

て、無低診は地域で把握されていないかった生活困窮者への支援のきっかけになりうる。無低診を利用することがゴールではなく、その後の生活をどう築いていくかの視点で様々な支援団体との連携につなげていくことが、医療従事者に求められる」と話されました。事例報告では、古川民主病院歯科の佐藤修太郎医師から、入れ歯の提案に経済的理由で断念した患者をMSWに紹介し、無低診を利用し治療した事例。坂クリニック看護師の山崎恵さんからは、がん患者の薬代が高額になり支払い困難な状況になることを事務職員が気づきから無低診につなげた事例。坂総合病院の社会福祉士の佐藤健太郎さんから、経済的理由で治療を中断していた患者の事例から無低診の公的制度へつなげたところ

現在、調剤薬局の薬代や介護保険は無低診の対象にはなりません。ただ、自治体との交渉で独自に薬代の助成を行っている北海道のような事例もあります。無料低額診療に

ついて周知し支援者のネットワークを広げ利用者を増やす取り組みとともに、調剤薬局の薬代、介護保険での助成実現のため、運動を大きく広げていきたいと思います。

19世帯53名の児童と兄弟姉妹、保護者が来場しました。スタッフは、職員・医学生・看護学生・みやぎ東部友の会の合計20名が参加しました。支援物資は、お弁当とフードバンクから提供いただいた食料、坂総合病院に設置したフードボックスや県連内事業所職員から協力いただいた食料を提供しました。

19世帯53名の児童と兄弟姉妹、保護者が来場しました。スタッフは、職員・医学生・看護学生・みやぎ東部友の会の合計20名が参加しました。支援物資は、お弁当とフードバンクから提供いただいた食料、坂総合病院に設置したフードボックスや県連内事業所職員から協力いただいた食料を提供しました。

総合病院近隣の小学生を対象に、お弁当と食料支援を行いました。

支援へのチャレンジ、坂総合病院診療圏で活動しているフードバンク「いのちのパン」への協力と医学生・看護学生への食料支援として、病院内に

来場した方々のアンケートでは、「物価も上がりが日常をこなすだけで一杯で、いつも手抜きご飯の中、豪華なお弁当で子どもたちもすごく大満足で助かりました。久しぶりに美味しいご飯を食べました」「夏休みで食費の出費が多い中、とても助かりました」など、新型コロナや物価高騰による家計の深刻さが伝わりました。

今回は初めての弁当配布企画でしたが、このような支援は、1回ではなく、定期的に継続することが大切です。次回年末の支援を計画中です。本来、食事に困る子どもたちが世の中からいなくなるのが理想です。そのため、学校給食の無償化、公的な子育て支援の充実などを求め、関係者の方々と自治体へ働きかけることが必要です。

増える大雨の頻度が上がり、激甚化するのだそうです。米国の過去100年超に起きた山火事で、最も多くの犠牲者を出したと言われるハワイ州の山火事も、温暖化が大聞く影響しているようです。異常気象は、人間だけへの影響ではなく、動物たちの生態系にも変化をもたらす、クマが人間の生活圏にも足を踏み入れたり、マリアの媒介蚊の生息地も変化し、これまでも違う地域でも感染症が起りうることも聞きました。何ができるかです。私たちの職場では、アラームをかけ、就業前に一旦冷暖房の電源を切り、省

エネと経費削減をします。(適していない温度と感じれば、再度点検)。紙や、プラゴミをリサイクルに出し、省エネと経費削減をします。賛否両方あるかと思いますが、小さい行動ですが、未来を同時に考えています。個人的には、夜はゆつくりしたく夜型になっていますが、それを朝する方向にシフトしたいと思っています。小さなことからコツコツとです。

今回は初めての弁当配布企画でしたが、このような支援は、1回ではなく、定期的に継続することが大切です。次回年末の支援を計画中です。本来、食事に困る子どもたちが世の中からいなくなるのが理想です。そのため、学校給食の無償化、公的な子育て支援の充実などを求め、関係者の方々と自治体へ働きかけることが必要です。

クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「扉」の欄に掲載させていただく場合があります。応募資格：臨時、パート含む県連職員。締切10月15日当日消印有効。発表11月1日号。

環境問題と私 第19回

南光台地域包括支援センター 保健師 芳賀 明子



こんなに暑かったら、子どもたちが大きくなる頃にはどうなるんだろうと考えると、核家族や単身世帯が増えていることで、エアコンに限らず、消費電力も増えると思います。体温並みの高温は、も

つと南の方の話と聞いていました。宮城は、昼間暑くとも、夜の気温は下がると思っていました。夜も25度以上ある熱帯夜の日は、2010年は年間10日間、2015年は5日間、2020年は10日間といった程度でしたが、今年果たして何回になるのでしょうか。高温が続くことで、海や

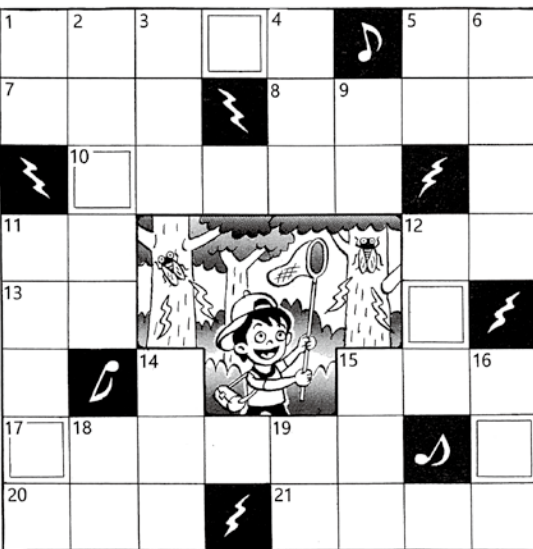
地面から蒸発する水分が冷暖房の電源を切り、省

エネと経費削減をします。(適していない温度と感じれば、再度点検)。紙や、プラゴミをリサイクルに出し、省エネと経費削減をします。賛否両方あるかと思いますが、小さい行動ですが、未来を同時に考えています。個人的には、夜はゆつくりしたく夜型になっていますが、それを朝する方向にシフトしたいと思っています。小さなことからコツコツとです。

クロスワード



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの5文字をうまく並べてできる言葉は？ (作・モロスミ勝)



ヨコのカギ
1211108751
うろこ雲ともいふ巻雲
……に耳あり障子に目あり
ビルと言えは、この国
ICBMのMは、
急(せ)いては事を……元
……方……心……社
間に合っています……サン

2120 17 1513
全国いたる所……痛痛
「……布武」は織田信長が印
章に用いた言葉
小説「下町・キホーテ」を
書いたのは、
小規模な医療施設
APPとかUPIは……社

965432 1
この国もビルで有名です
……は友を呼ぶ
……は友を呼ぶ
……は友を呼ぶ
……は友を呼ぶ

1918 1615 141211
の仲間です
アシカの仲間の海獣
手心えなし……に腕押し
兵庫東灘市といえは全国
有数の……の産地です
手間がかかること
ぜいたくをしない生活
カエデ科の樹種をう呼ぶ
……は友を呼ぶ
……は友を呼ぶ
……は友を呼ぶ